

ウェブアクセシビリティ研修の感想

中根 啓如さん

1983年11月3日生 脳性マヒ

私がウェブアクセシビリティと出会ったのは、一昨年の12月に「ウェブアクセシビリティ診断技術取得研修」を受講したことに始まります。研修は、5日間でウェブアクセシビリティの基本理念、各診断項目の内容の理解や診断に使用するツールの使い方など覚えることが多く、又、慣れない作業に大変でした。その後、数回、ウェブアクセシビリティ研修に参加したり、実際に診断作業を行ってスキルアップをしてきました。

昨年の11月には新たに「ウェブアクセシビリティ研修」の「基礎コース」を受講しました。今回の研修を受講して、改めて感じたことがあります。それは実際に、視覚障がい者がホームページの情報を得るための音声読み上げソフトを使用した時、私は視覚に障がいがないため、速度の速さについていけないということです。障がい者であっても個人によって障がいの程度や違いがあることを忘れてはいけないと痛感しました。

又、ウェブアクセシビリティという言葉さえ、まだあまり一般的ではないので、もっと広めていき、診断作業を行わなくても誰もが情報を正しく得られるホームページが増えていって欲しいと思いました。

現在は、「ウェブアクセシビリティ研修」の「応用コース」を受講しています。そして、改めて今回も何かを感じ取り、活かせるようにしたいと思っています。

私は、ウェブアクセシビリティについて学ぶ機会や実際に診断作業に参加させて頂き、多くのことを感じさせてもらったことに感謝しています。そして、今後もウェブアクセシビリティの診断に携わりスキルアップをし、何か新たなことにもチャレンジしたいと思っています。

障害者技能・知識習得訓練の感想

村濱 徹さん

1986年1月24日生 脳性マヒ

私は、約3年前に大垣市社会福祉協議会の方に講習の紹介を頂き、初めて工房の障害者技能・知識習得訓練のITリテラシーコースを受講しました。将来はパソコンを使って仕事がしたいと思っていました。しかし、パソコンは少し触った事がある程度で全然分からなかったのも、「基本的な事から勉強したい」又、社会人としての経験がなかったのも「社会の雰囲気を知りたい」と思い受講しました。

1か月程は、オフィスや大人の雰囲気に慣れずに緊張し、体調の優れない日もありましたが、徐々に慣れていきました。

講習は、テキストと前のスクリーンを見ながら自分も一緒に操作していくという進み方だったので、全く分からなかった僕にも分かり易かったです。そして、教えて頂く方の声や画面を見逃さないよう心掛け受講しました。毎日、今まで知らなかった色々なワード、エクセルの機能やパソコンの事が分かりました。また、いろいろな経験ができましたので受講して良かったと思いました。

障害者技能・知識習得訓練修了後は、ワード2003スペシャリスト試験受験合格をきっかけに様々な資格取得にチャレンジしました。試験の学習期間は、辛いと感じる事もたくさんありましたが、受けて合格したときの達成感もたまりません。

現在は、工房のウェブアクセシビリティ研修を受けています。これからもいろんな講習を受け、知識を広げ、将来は仕事ができるように頑張りたいと思います。



平成20年度(前期)に新メンバー宮田貴之さんが登録されました。新戦力と共に工房の活性化に努めたいと思います。